



別寒辺牛川水系及び厚岸湖・厚岸湾に生息する イトウ (*Hucho perryi*)成魚の行動生態の解明

鍵和田 玄*・本多 健太郎**・高橋 伸幸*・宮下 和士**

* 北海道大学大学院環境科学院 ** 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

イトウってどんな魚？



- 日本で最も大きな淡水魚
- >1.0mに成長し, 15 年以上生きる
- 日本では現在北海道のみに生息
- 絶滅危惧種IA類に指定 (IUCN)

研究の目的

- 季節的な生息域や移動を明らかにする
- イトウが利用する生息環境を理解する
- 同じイトウで年毎の行動の変化を見る

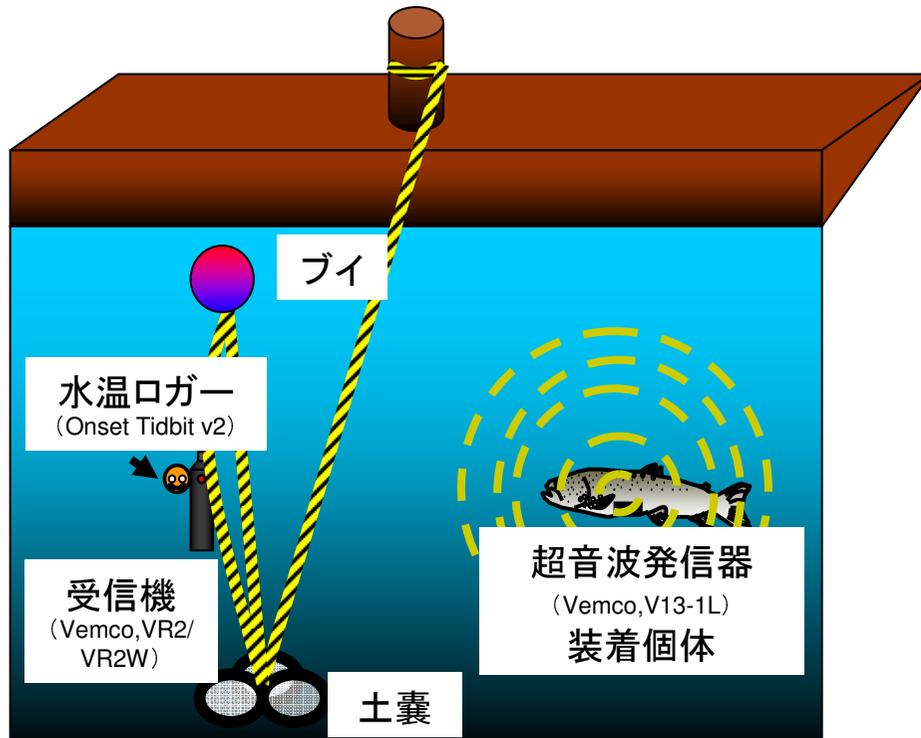


研究手法と結果

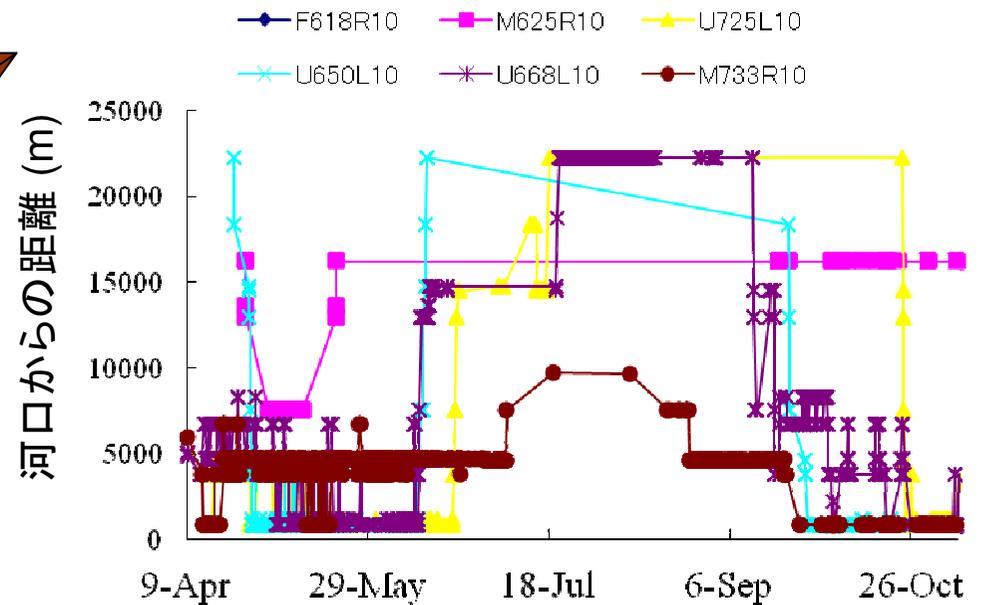
超音波発信器を装着したイトウ成魚6個体を，河川上流域から厚岸湖まで計18箇所に沈めた受信機で追跡し，周辺環境と比較

- 調査期間: 2011年4月～11月
- 調査水域: 別寒辺牛川水系・厚岸湖
(調査水域を7つのエリアに分割)

↓ 受信機の設置方法・追跡魚が受信される様子



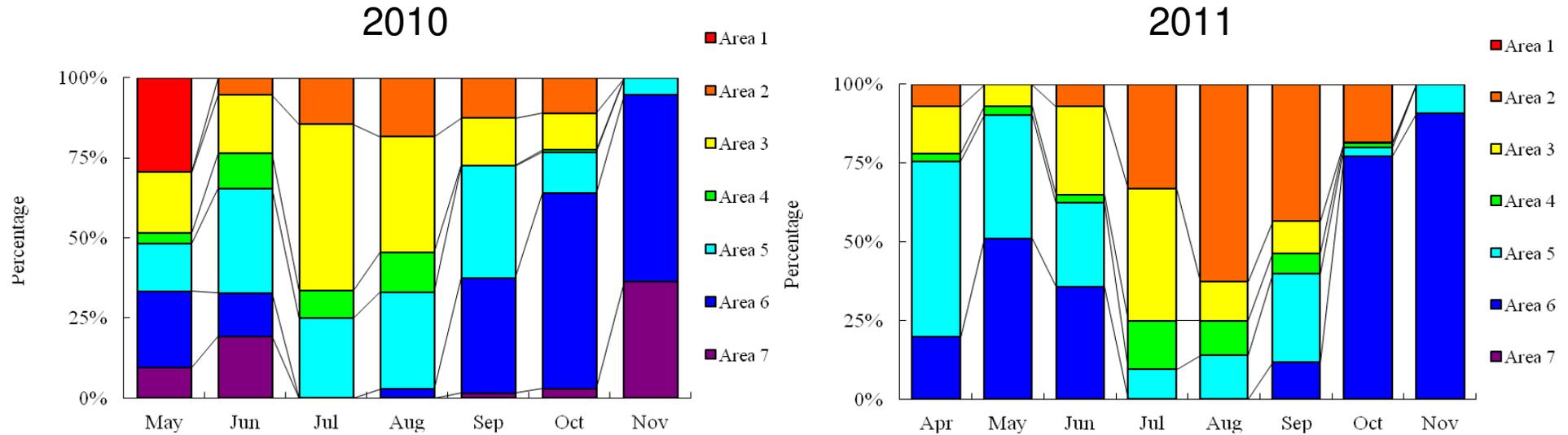
↓ イトウ成魚6個体の滞在位置の変化



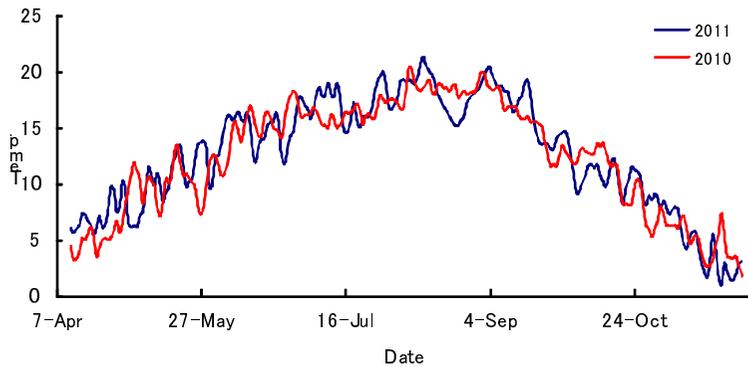
- 春と秋は下流域・厚岸湖を利用
- 夏は中上流を利用

こんなことがわかった(その1)

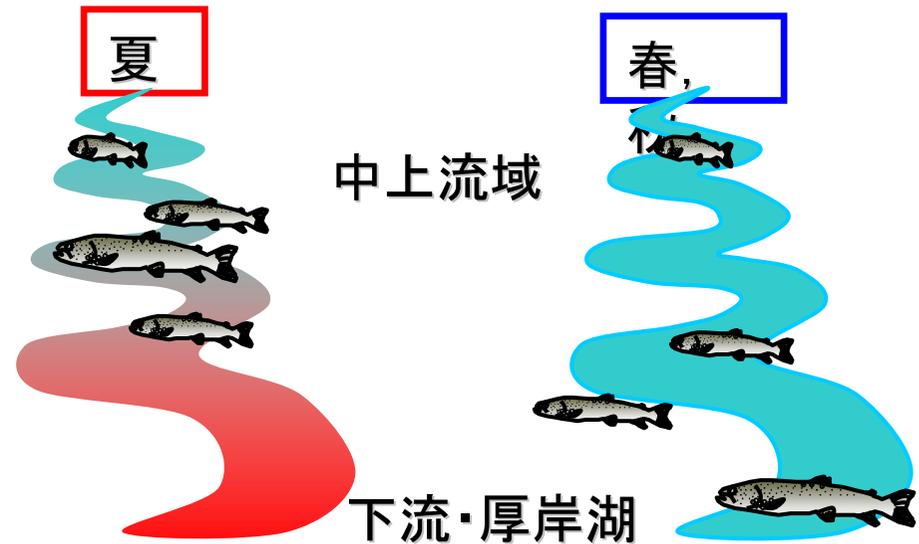
イトウ達の各エリア利用率 (2010年/2011年)



● 両年とも春秋は下流・厚岸湖，夏は中上流域を利用

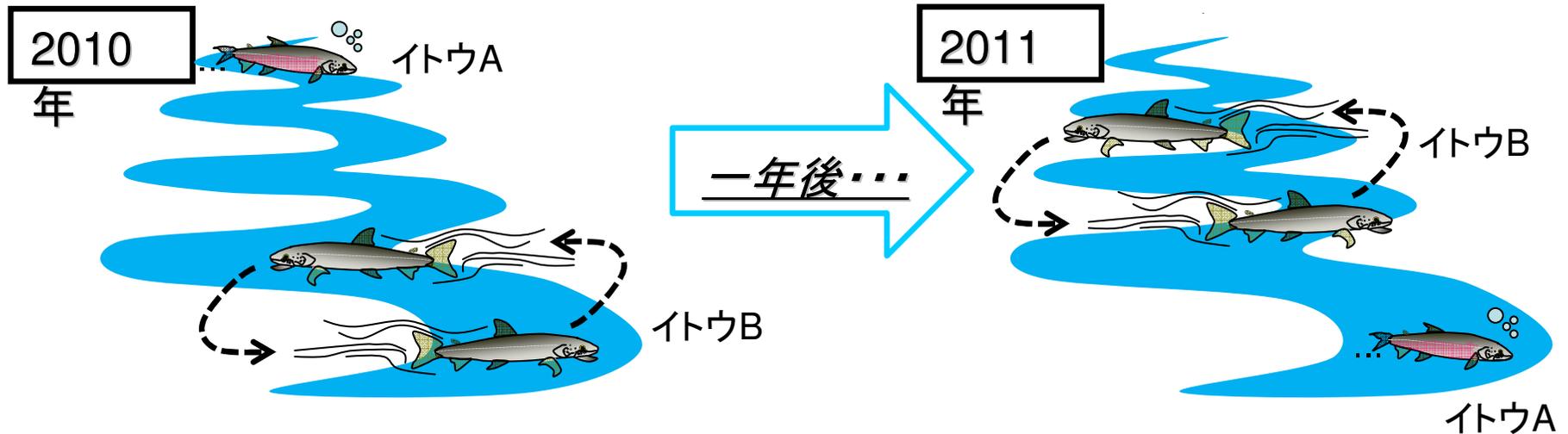
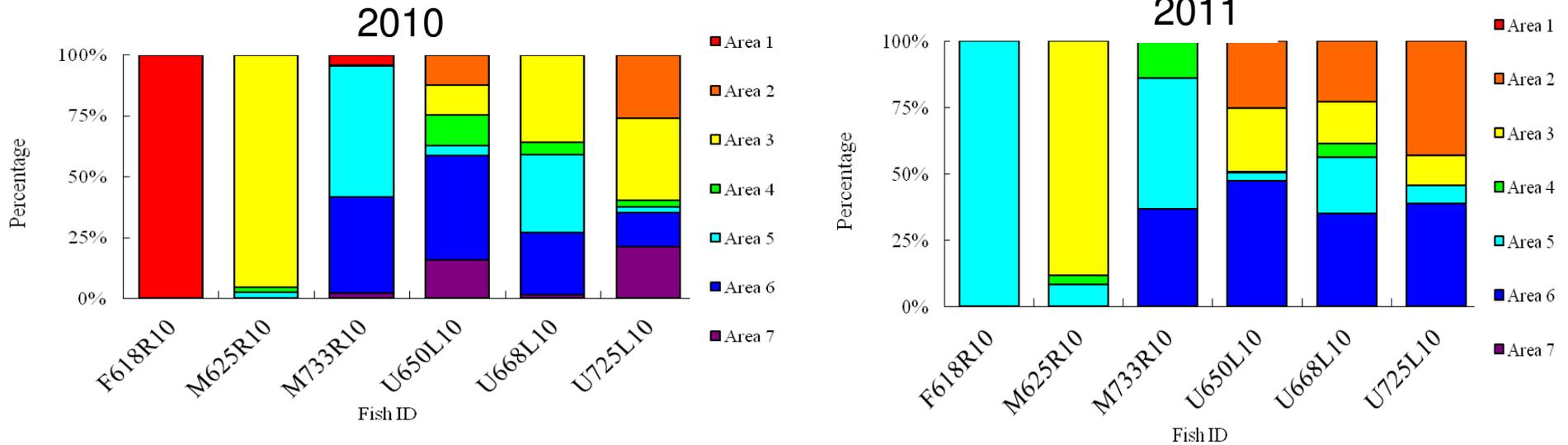


⇒ 水温は2010年も2011年もほとんど同じだから？



こんなことがわかった(その2)

個々のイトウの各エリア利用率 (2010年/2011年)



- どのイトウも、2010年と2011年で同じような動きをしている

本研究は、平成23年度厚岸湖・別寒辺牛湿原学術研究奨励補助制度厚環水第19号の補助を受けて行われました。